

**消費者庁事故調の提言に対して  
「包装容器面を含めた誤飲事故防止対策を検討」**

塩崎厚生労働大臣「閣議後記者会見」(2015年12月22日)

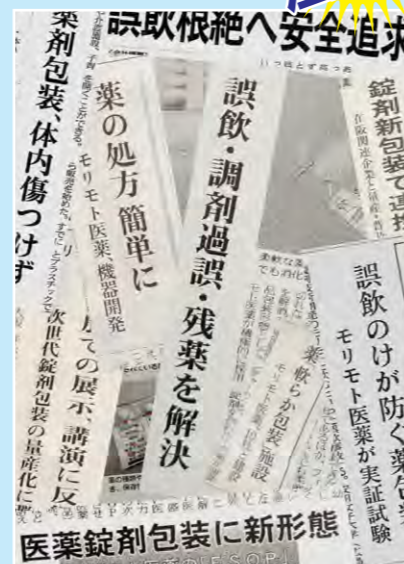
2015年12月22日の塩崎厚生労働大臣の閣議後記者会見の中で、薬の誤飲問題についての質疑応答がありました。厚生労働省では、現在厚生労働科学研究班において、子どもが飲んではいけない薬を間違えて飲まないように、包装容器を開封しにくくするなどの誤飲事故防止対策を検討中であり、今後は、地方公共団体、医療関係者を通じて、周知や注意喚起をしていく考えを話されました。

※質疑応答の様子は厚生労働省のWEBサイトににてご覧いただけます。http://www.mhlw.go.jp/stf/kaiken/daijin/0000107990.html



**ESOP は PTP に変わる次世代錠剤包装として  
さまざまなメディアに取り上げられ注目を浴びています。業界関係者  
注目必至!**

- 日本経済新聞「モリモト医薬、機器開発」(2015年11月25日掲載)
- 産経新聞「薬 飲み残しなくそう」(2015年11月18日掲載)
- 包装タイムス「次世代錠剤包装の量産化に弾み」(2015年11月17日掲載)
- 化学工業日報「医薬錠剤包装に新形態」(2015年10月13日掲載)
- 包装タイムス「誤飲事故防止の錠剤包装普及へ」(2015年10月12日掲載)
- 日本経済新聞「薬“軟らか包装”施設」(2015年8月24日掲載)
- 産経新聞「シートで損傷 相次ぐ薬の包装事故」(2015年7月3日掲載)
- 日刊工業新聞「錠剤新包装で連携」(2015年6月11日掲載)
- 日本経済新聞「誤飲のけが防ぐ薬包装」(2015年2月23日掲載)
- 日経産業新聞「製剤技術開発 モリモト医薬」(2015年1月22日掲載)
- 包装タイムス「ESOP 事業連携プロジェクト」(2014年12月8日掲載)
- 日刊工業新聞「錠剤包装改善で連携」(2014年10月9日掲載)
- 日本経済新聞「誤飲しても体傷つけない薬剤包装」(2014年4月28日掲載)
- 薬事日報「新規錠剤包装 ESOP 開発」(2014年4月18日掲載)



※記事内容にご興味のある方、ご質問、閲覧をご希望の方はメール(customer@m-ph.co.jp)にてお申し付けください。 2016年2月現在

**次世代錠剤包装 ESOP プロジェクト参加者募集**

モリモト医薬では「次世代錠剤包装 ESOP プロジェクト」を発足し、皆様のご参加で協力のもと製品開発を行っています。誤飲・誤薬・残薬防止という ESOP のポリシーにご賛同いただける医薬品製造、医療介護の専門家の方々を広く募っております。「次世代錠剤包装 ESOP プロジェクト」にご興味のある方、ご質問ご相談はお気軽に下記連絡先までお問い合わせください。



<http://www.morimoto-iyaku.jp/esop>

WEB サイトでは、ESOP のムービーの視聴やパンフレット・学会資料等をダウンロードすることができます。

～次世代錠剤包装 ESOP に関するご質問やご相談はお気軽に下記までお問い合わせください。～

**株式会社モリモト医薬** お客様相談室  
フリーダイヤル ☎ **0120-600-937** (平日のみ  
9:00~17:00)  
〒555-0012 大阪市西淀川区御幣島 5-8-28 Tel.06-6476-5473 Fax.06-6476-5573  
<http://www.morimoto-iyaku.jp> E-mail customer@m-ph.co.jp



# 錠剤包装革命

— PTP に代わる次世代錠剤用包装形態 —



次世代錠剤包装  
(軟らか包装)

イソップ  
**ESOP**  
Easy Seal Open Pack

PTP に代わる包装技術として開発された新包装形態「ESOP(イソップ)」。弱シール技術を応用した、誤飲しても体内を傷つけない軟らかい樹脂の透明フィルムの錠剤包装です。

**株式会社モリモト医薬**

# 「高齢者による PTP 包装シート誤飲事故」 「子どもによる医薬品誤飲事故」を根絶したい！

誤飲・誤薬・残薬…これらの医療課題を解決するために ESOP は開発されました。

ESOP (イソップ) は、解決困難な医療課題である「誤飲事故 (高齢者による PTP シートの誤飲事故)」「子どもによる医薬品誤飲事故」「誤薬事故 (調剤過誤)」「残薬問題」など、これらの課題を一気に解決できる新錠剤包装です。軟らかいフィルムで出来ているので、万が一飲み込んでも消化管を傷付けることもありません。ESOP は、両者の誤飲事故、調剤過誤、残薬対策、持参薬確認などに有効と考えられます。



ESOPの取り出し方法



ESOPとPTP



## 取り出し性

片手で開けたり、口にくわえて出すこともできるので、手先の不自由な方でも大丈夫です。



## 携帯性

広げている時は情報スペースが大きく見やすく、携帯時は小さく折りたためます。



## 安全性

軟らかい素材だから角で手を傷つけません。誤飲した場合も体内を傷つけません。



## 視認性 (識別性)

1錠ごとと使用期限が表示されて残薬確認も簡単。持参薬の確認もバーコード照合で間違えることはありません。



## 防湿性 (バリア性)

軟質フィルムで破れにくく、気密性・安定性が高いため水分・酸素透過による成分劣化を防止します。



## CR包装 (チャイルドレジスタント)

お子様には、すぐには取り出しにくい構造になっていますので不用意な誤飲を防止します。



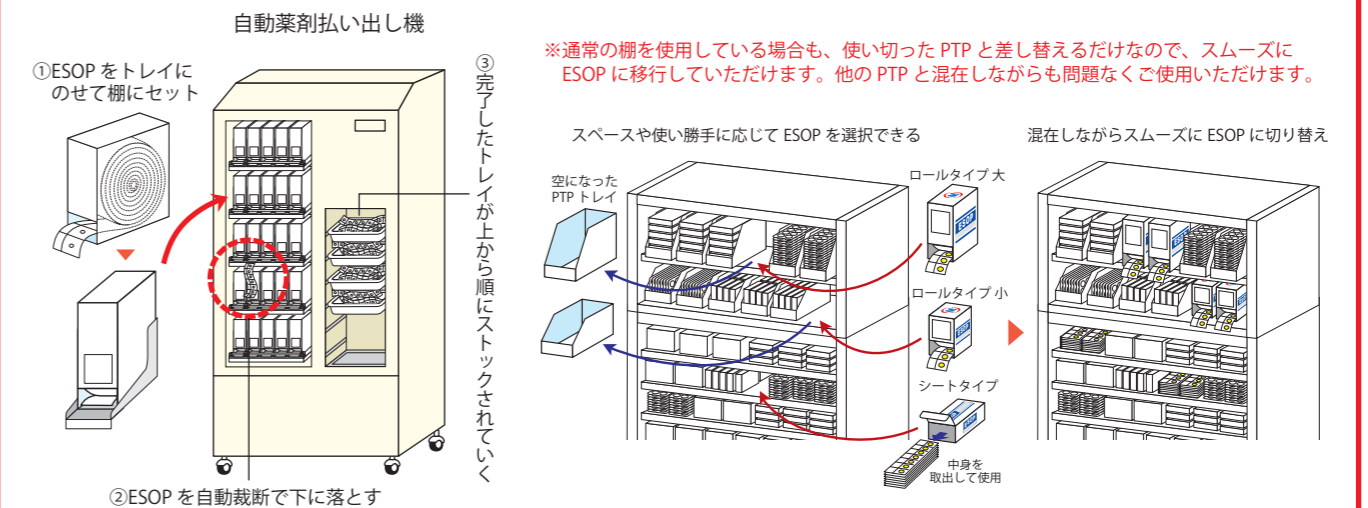
## ESOP と PTP の比較

	PTP	ESOP
誤調剤	△ 誤調剤の一因	◎ バーコードチェックにより防止
残薬 (防湿性)	△ 3~6ヶ月再使用	◎ 3年有効
持参薬のチェック	△ 有効期限なし、時間がかかる	◎ 表示、バーコードチェックでスピーディ
誤飲事故のリスク	× 大きな問題となっている	◎ 損傷リスクが低く、そのまま排出しやすい
切り離しの容易性	△ 1錠ずつ切り離さないように注意喚起されている	◎ 縦横にミシン目がある
機械による廃棄・大量取り出し	○ すでに機械化されている	◎ 機械化は容易である
手動による廃棄・大量取り出し	△ 手間がかかり、腱鞘炎、ばね指などの問題がある	◎ ハサミにより、簡単に取り出し可能である



薬袋の比較 (上: ESOP 下: PTP)

ESOP 自動薬剤払い出しシステム案 ロール状の ESOP を BOX に入れ、自動薬剤払い出し機にセットする入れことで自動化を実現。



## ESOP まとめ

### ◆ 次世代錠剤包装 ESOP 4つのポイント

①取り出し性 ②視認性、識別性 ③携帯性 ④防湿性、バリア性

◆ 高齢者・小児の二つの誤飲事故に対して、有効である。

◆ 薬局の調剤作業において、薬剤の取り出しが簡便でスピーディ。

◆ 調剤過誤、残薬対策、持参薬確認に、極めて有効である。

※開発中パッケージ (サンプル)



シートタイプ 70 錠入



シートタイプ 140 錠入



ロールタイプ 200 錠入



ロールタイプ 500 錠入

※記載の ESOP の写真は開発中のものにつき、デザイン・サイズ・色など予告なく変更される場合があります。